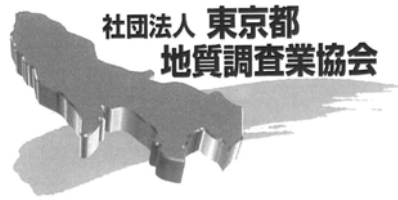


# 東地協ニュース 2006.春 第7号



## 千葉は遠い！(徒歩でどこまでいけるか)

社団法人東京都地質調査業協会  
事務局長 石井 勝  
(関東地質調査業協会事務局長)

平成 18 年 3 月 5 日(日)晴、3 月初旬としては暖かな陽気であった。前々から協会から千葉市の自宅迄、東京都で選定した「帰宅支援対象道路」に沿って、行けるところまで歩いて見たいと思っていた。東京から千葉方面への標準的なルートは、秋葉原が起点で昭和通りから台東 1 丁目で右折して蔵前通りへ、江戸川の市川橋を渡り千葉県へ入り(国道 14 号<千葉街道>となる)千葉駅までの 38km である。

5 日 10:15 協会前を出発、神田駅南口ガードをくぐり、10:35 東神田の大和橋で靖国通りに、両国橋を渡り両国駅前で左折し、300 メートル先の旧安田庭園で早くも休憩(11:05 迄)蔵前通に入り、錦糸町駅入り口を通り(秋葉原から 4km)亀戸天神入り口へ、丁度梅祭りの最終日で境内は賑わい、梅は八分咲き程度であった(11:50)。道路脇には「災害時この道路が車両通行止め」になる旨の表示板が掲げられていた。

12:05 東武亀戸線の踏切を渡り(歩行者は回り道)、平井駅前到着。駅前広場で休憩トイレと持参のお茶と餡パンで昼食(7km 地点、まだハイキング気分 12:20~12:35)、ここから先は、JR に換算すると駅と駅の距離間隔が長くなる。12:45 平井大橋入り口から橋を渡ると右手に大きな公園があり休憩に利用できそう、13:15 新小岩駅入り口付近(9km 地点)から少し足が痛み出す(靴はゴム底のスリッポン)。

環七の総武陸橋下を通過し、新中川上一色橋袂で休憩(13:30~45)、小岩駅付近を通過 13:45・11km 地点)。14:05 都県堺の一川橋入り口、かなり足の親指が痛む、14:30 市川駅でトイレ休憩、足の裏全体が痛む、そろそろ限界か？(14km 地点)足が持ち上がらず、小さい段差でも躓きそうになってくる。

15:05 本八幡駅到着、ダウンここでリタイヤ(16km 地点)。本日の全行程 16km・所要時間 4 時間 50 分であった。残りの本八幡から千葉までの区間(22km)は近々再度挑戦したいと考えている。

今回の感想としては、

天気の良い昼間の時間帯で、ラフな服装での歩行で 5 時間で 16km、1 時間あたり、3km 弱の行程であったが、災害時は障害物などの条件からこの距離が限界と思われる。

歩行者の立場で感じたことは、道路の信号が「車両」を対象として設定されているので、信号の度毎に赤でとまり待ち時間が多くなる。立体交差の場合に歩行者は階段や回り道となるケースがある。

道路脇の建物や、ブロック塀などの危険性を確認しながら歩く余裕はなかった。

休憩所・トイレ・公園などは、大きな河川の橋の前後に多いが、震災時は安全性から考えても利用できるかどうかは疑問である。幹線道路と JR などの鉄道は並行しているので、駅前のトイレの利用の方が安全である。

## 会議報告等

### 1. 17年9月14日 理事会・全体委員会

- (1) 平成18年東京都予算に対する要望  
前回とほぼ同様の内容とする。
- (2) 平成17年度防災展 結果報告  
関東地質調査業協会と協力して出展  
日時:平成17年8月23日(火)～26日(金)  
場所:新宿駅西口広場 イベントコーナー  
・防災パネル展示  
・「大地の解体新書」のパソコンデモ  
・振動実験装置の展示 ほか
- (3) 平成17年度東京都・町田市合同防災訓練 結果報告  
日時:平成17年9月1日(木)  
協会参加者:8名
- (4) OB会について  
OB有志により12月頃に第2回OB会開催を企画する。

### 2. 17年11月14日 理事会・全体委員会

- (1) 第2回OB会について  
日時:平成17年12月2日(金) 18:00～20:00  
場所:ホテルサンルート池袋
- (2) 東京都財務局の地質調査委託案件の電子入札化について  
平成17年11月2日に、東京都財務局経理部契約第一課・金田係長より、平成17年12月からの測量・地質調査委託案件について電子入札を導入する予定としている旨説明を受け、協会委員への周知徹底を促された。(協会出席者:大越会長,中込広報委員長,大野広報副委員長)  
後日、先方よりメールにて送られてきた関係書類を会員宛てに転送。
- (3) 土壌・地下水の分析機関見学会の件  
協会技術委員会・環境部会が企画

日時:平成17年11月15日(火) 13:30～16:30

場所:(株)環境管理センター 環境基礎研究所

内容:施設見学会,土壌試料の分析方法,  
計量証明書の発行 など

申込み:14名(定員15名程度)

- (4) 東京都都市整備局内職員ヒアリングの件  
土壌・地下水汚染調査に係る仕様書の改訂にあたり、ヒアリングが行なわれた。  
協会出席者:大竹技術委員長,阿部技術委員,  
岡技術委員,五月女技術委員
- (5) 災害時の協定などについて  
対応が可能か、今後検討したい。

### 3. 18年2月24日 理事会・全体委員会

- (1) 東京都の「業務及び財産の状況に関する検査」について  
平成18年2月7日(火)13:15～16:30、東京都生活文化局都民生活部管理法人課の公益法人担当者2名が協会事務局へ来訪の上、議事録等の書類、諸帳簿類などの確認を行なった。協会側からは、大越会長及び事務局の石井局長、前田職員が立ち合い、事業と予算決算等の説明を行なった。
- (2) 第16回通常総会の日程などについて  
日時:平成18年3月23日(木) 於:測量地質健保会館  
13:20～13:50 理事会・全体委員会  
14:00～15:30 経営講演会  
「業界を取り巻く諸問題について」  
講師 (社)全地連 矢島専務理事  
15:40～17:00 総会  
議題:平成18年度予算(案)と事業計画(案)の件  
任期満了に伴う役員改選の件  
総会終了後、会費制立食パーティを予定。  
銀座ライオン池袋西口店にて 会費5,000円

(3) 17年度仮決算と18年度事業と予算の方針について  
17年度の仮決算を報告するとともに、17年度事業実績を参考に18年度事業について意見を聞き、18年度事業計画に反映させることとした。

(4) EBID(入札速報サービス)中止の件

建通新聞社が協会と契約し、毎日会員各社にメールで配信していた「建設業界向け入札速報サービス」が、平成18年3月31日を以て廃止されることとなった。2月1日からは建通新聞購読者登録をすることにより、新サイト「みみとく」により入札速報を検索出来るが、従来のように地質関係のみがまとめられている物ではなく、また、メールでの配信サービスは無くなった。

協会としては建通新聞の購読は行わず、今後は、必要により会員各社で対応していただくこととして、3月末で配信停止の旨、会員各社に連絡する。

(5) 新宿区の防災講演会(2件)について

会 場： 新宿区立防災センター

1月21日 「新宿区防災サポーター研修」

防災講演テーマ： 新宿区の地形・地質と防災

<講師> 協会技術委員会より3名

前原委員，菊地委員，西原委員

2月18日 「防災リーダー講習会」

防災講演テーマ：

『知っていますか？あなたの町の地震災害』

<講師>

(独)防災科学技術研究所 川崎ラボラトリー

副チームリーダー 若松 加寿江氏 (協会理事)

また、若松先生には4月7日(土)開催の足立区防災講演会においても、ご講演をお願いしております。

(6) 東京MXテレビ「ガリレオチャンネル」取材について

東京MXテレビ「ガリレオチャンネル」の番組制作会社であるワック(株)より、取材の申請(インタビュー撮影有り)があり、大越会長、高橋技術副委員長、向

山技術委員にて取材の対応をした。

取材内容 東京タワーの地盤について

東京礫層の特徴など

放 送 2月12日

(7) 平成17年度東京都CALS/EC推進協議会

日時 平成18年2月10日(金)

場所 東京都第1本庁舎25階114会議室

議題 東京都の取り組み

国の最新状況について

丸山技術副委員長が出席。

(8) 技術委員の増員の件

〔新任〕 安江 徹也氏

千葉エンジニアリング株式会社 技術部部长

平成18年4月1日より、技術委員会・講演部会の担当としてご協力いただく。

(9) 職員採用の件

平成18年1月4日付けにて、前田美佐男氏を採用。石井職員は5月末まで勤務予定。

4. 18年3月23日 理事会・全体委員会

(於：測量地質健保会館)

(1) 第16回通常総会の進行について

(2) [地質調査士]の資格普及について

宅地造成、杭表層改良業者等がNPO法人(住宅地盤品質協会)を通じ住宅地盤調査業務実務者登録制度(地盤調査士等)を設け民間の地盤改良調査業務を、住宅建材メーカーに働きかけており、当協会も[地質調査士]の資格普及について、全地連と共同で対策を検討すべき意見が出された。



## 5. 18年3月23日第16回通常総会(予算)

協会第16回通常総会は、去る3月23日(水)測量地質健保会館大会議室で開催した。当日は、会員数44社に対し、33社が出席した。議事の概要は以下の通り。

全議案が承認され、滞りなく終了した。

- (1) 平成18年度事業計画(案)承認の件
  - (2) 平成18年度収支予算(案)承認の件
- (1),(2)ともに異議無く承認された。

## (3) 役員の改選の件

任期満了に伴い役員の改選が行われ、以下の方々がそれぞれ就任された。

## 平成18~19年度 役員

(順不同・敬称略)

## ・理事(14名)

- 外部理事 8名 -

- 安田 進 東京電機大学理工学部 教授  
 山崎 晴雄 首都大学東京 都市環境学部  
 地理環境コース 教授  
 若松加寿江 防災科学技術研究所  
 川崎ラボラトリー チームリーダー  
 田中 政治 公認会計士田中事務所 所長  
 赤瀬 暁 有限会社アカセ技術事務所 代表取締役  
 熊谷 孝司 株式会社京設計 代表取締役  
 片山 浩明 東邦地下工機株式会社  
 企画開発本部 開発部次長  
 神谷 仁 株式会社神谷製作所 代表取締役

- 内部理事 6名 -

- 会長 大越良裕 大和試錐工業(株) 代表取締役  
 副会長 早田守廣 大和探査技術(株) 代表取締役  
 副会長 金道繁紀 (株)地盤試験所 代表取締役  
 技術委員長 大竹 勉 基礎地盤コンサルタンツ(株)  
 関東支社 副支社長  
 総務委員長 鳥塚 明 (株)富士ボーリング  
 業務部 業務課長  
 広報委員長 中込実敏 協和地下開発(株)取締役営業部長

## ・監事(2名)

- 原島 滋 (株)ダイエーコンサルタンツ  
 代表執行役員会長  
 杉松一政 (株)日さく 取締役営業本部長

## 6. 18年4月19日 理事会・全体委員会

## (1) 平成17年度収支決算報告

|             | 予算         | 決算         | 差額        |
|-------------|------------|------------|-----------|
| 収入          | 11,850,000 | 11,795,530 | 54,470    |
| 支出          | 11,850,000 | 9,793,013  | 2,056,987 |
| 残高(17年度剰余金) |            | 2,002,517  |           |

- (2) 平成18年度収支予算案の一部修正について
- (3) 第17回通常総会について

日時：平成18年5月18日(木) 15:30 ~

場所：測量地質健保会館

議題：1) 17年度事業報告と決算報告の件

## 会計監査報告

- 2) 18年度事業計画及び予算変更承認の件

- (4) (財)住宅保証機構の「住宅性能保証制度」について  
 NPO住宅地盤品質協会主催説明資料を参考にし、当協会が地盤保証制度並びに財団法人住宅保証機構との提携等を含め、今後、地盤調査部門について検討をする。

## (5) 技術委員会の委員交替について

- 【辞任】 安富宏和副委員長 (日本物理探査(株))  
 渡辺幸雄委員 (川崎地質(株))  
 平野義明委員 (住鉦コンサルタント(株))
- 【新任】 金田朋之氏 (日本物理探査(株))  
 川井康右氏 (川崎地質(株))  
 馬場秀人氏 (住鉦コンサルタント(株))  
 世森祐一氏 (大和探査技術(株))  
 安江徹也氏 (千葉エンジニアリング(株))

## 【副委員長の交代について】

## 1) ノート部会

安富副委員長の辞任に伴い、西原聡委員(中央開発(株))が副委員長に昇格。

## 2) 環境部会

渡辺寛副委員長((株)日さく)の副委員長辞任の申し出に伴い、阿部博昭委員が副委員長に昇格。渡辺寛氏は委員として引き続きご協力いただく。

## トピックス(協会行事紹介)

### 東京都 2005 技術フォーラム

技術発表会風景



清水恵助先生

平成 17 年 11 月 7 日、「北とぴあ」7 階第二研修室において、当協会・技術委員会主催の『東京都 2005 技術フォーラム』が開催されました。技術発表会および特別講演、懇親パーティを内容とするこのフォーラムもお陰さまにて 10 回目を数えました。

会員の皆様よりご応募いただいた 12 編の技術発表はテーマも様々で、地中レーダや熱赤外線などの物理探査的手法を用いた調査事例の紹介、原位置試験に関する考察・技術紹介、土壌地下水汚染、自然災害を取り上げた発表などがあり、どれも興味深く、日頃の業務においても参考となるところが多かったかと思われます。

特別講演としては、以前に総会後の講演会で東京港の地盤について非常に興味深いご講演をいただいた元九州工業大学教授 清水恵助氏を再び講師にお迎えし、若手技術者にぜひ聞いてもらいたい話題として「続 今さら、東京港の地盤について—また、私のじばん話—」と題し、貴重なご講演を頂戴いたしました。

その後は、同ビルの 14 階王子東武サロン「芙蓉」に会場を移し、懇親パーティが和やかに開催されました。普段はなかなか時間が持てないものですが、技術者間で広く交流を深められたことと期待しております。

### 足立区防災講演会

去る 4 月 7 日(金)、足立区役所南館 13 階大会議室にて「平成 18 年度 足立区避難所運営本部 本部長・庶務部長会議及び防災講演会」が開催され、東京協会では後半の防災講演会について協力をした。講師には、(独)防災科学技術研究所 若松加寿江先生(協会理事)をお招きし、地震対策についてのご講演をいただいた。

昨年 2 月の内閣府中央防災会議による首都直下地震被害想定調査の最終結果によると、新宿区西部直下にマグニチュード 6.9 の地震が発生した場合、最悪のケースで死者 1 万 3 千人(阪神・淡路大震災の 2 倍)、家屋倒壊・焼失 79 万棟(阪神・淡路大震災の 8 倍)の被害が予想されている。地震被害の大小は、建物の強度や密集度だけでなく地盤条件が大きく影響するため、本講演では区内の地盤条件に特に着目して地震災害の危険度を解説していただいた。また、2004 年 10 月に発生した新潟県中越地震から得られた教訓についても触れられた。

演題：「知っていますか？あなたのまちの地震対策」

講師：独立行政法人 防災科学技術研究所

川崎ラボラトリー チームリーダー

若松 加寿江 氏



講演会風景

## 会員(正会員・賛助会員)動静

### (1) 代表者の変更

- ・株式会社東京ソイルリサーチ  
代表者)[新] 代表取締役 松崎 賢三 氏  
[旧] 代表取締役 益子 恵治 氏
- ・地質計測株式会社  
代表者)[新] 代表取締役 三塚 隆 氏  
[旧] 代表取締役 小野満 隼男 氏
- ・株式会社ジオ・ブレーン  
代表者)[新] 代表取締役 柴田 亘 氏  
[旧] 代表取締役 金子 義信 氏

### 協会事務局・新職員のご紹介

平成 18 年 1 月より、協会事務局に新しい職員が加わり  
ましたのでご紹介いたします。



[新任]  
事務局員  
前田 美佐男 氏

1 月より協会へ入社いたしました、前田美佐男です。  
業界を取り巻く環境が厳しい状況ですが、会員  
会社及び協会繁栄に寄与できるよう頑張りますの  
で宜しくお願いします。

私の略歴は、昨年 12 月に退職しましたが、サン  
コーコンサルタント(株)で経理業務を 20 余年東京  
で、総務業務を福岡、大阪、名古屋にて 10 年単身  
赴任しておりました。

年齢は団塊世代の昭和 23 年生まれの 57 歳です。  
趣味は近所の農地を借りて(40 坪位)無農薬・有機  
の野菜づくりと地元(川崎市)ソフトボールクラブ  
で日曜日の午前中ソフトボールをしています。

## 行事日程

| 日 程      | 行事名・内容等                        |
|----------|--------------------------------|
| 5月18日(木) | <b>第17回通常総会</b><br>場所：測量地質健保会館 |
| 8月・第4週   | <b>東京都防災展</b> 場所：新宿駅西口         |

### ・ 編集後記 ・

東地協ニュースを楽しみにして居られる読者の皆様  
に対して発行が遅れてしまったことを紙面をお借りし  
てお詫びいたします。

予算総会も無事に終わり、新たに新年度を迎えるこ  
とになり東地協ニュースも次回号より紙面を衣替えし  
ていきたいと思っておりますので、皆様のご意見・ご希望をお  
待ちしております。

## 東地協ニュース 2006.春 第7号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail [info@tokyo-geo.or.jp](mailto:info@tokyo-geo.or.jp)

